

所属・氏名（健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 氏名：足立 達也）

| 著書、学術論文等の名称   | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表<br>の年月 | 発行所、発表雑誌<br>等又は発表学会等<br>の名称 | 概 要   |
|---|----------------|---------------|-----------------------------|---|
| 1 (学術論文)<br>異なる重量を用いたスレッド牽引走が加速局面の接地期における疾走動作に及ぼす影響(筆頭論文、査読付) | 共著             | 2022年6月       | 陸上競技研究、129:14-23            | 本研究では、異なる重量を用いたスレッド牽引走が、加速局面においてどのような疾走動作を引き出しているか明らかにした。その結果、体重の30-50%の重量を用いた中・高重量のスレッド牽引走では、前傾角度が大きくなること、股関節角度が小さくなること、下腿角度が大きくなることが示された。<br>担当部分:本研究の筆頭研究者として、本実験、データ処理、統計処理、論文執筆に寄与<br>著者名:足立達也、尾崎雄祐、上田毅  |
| 2 (翻訳)<br>学生アスリートのメンタルウェルネスへの理解とサポート:第一章 一人称視点から              | 共著             | 2025年3月       | 広島国際大学基盤教育センター、9:97-125     | 体育・スポーツにおいて心と体を一体として捉えることは本質的に重要である。しかし、実際の現場では、技能偏重や勝利至上主義、過剰な競争、商業主義が蔓延し、その弊害として多くの若者がスポーツ離れをしている。大学運動部では薬物や自殺、うつ病、依存症などの問題も顕在化しており、アスリートも一般の若者と同様に心の悩みを抱える存在であることを忘れてはならない。彼らは競技ルールや人間関係、生活環境など、他の若者にはない多くの困難に直面している。<br>担当部分:翻訳<br>著者名:金炫勇、足立達也   |
| 3 (翻訳)<br>学生アスリートのメンタルウェルネスへの理解とサポート:第二章 専門家の位置づけ             | 共著             | 2025年3月       | 広島国際大学基盤教育センター、9:126-137    | 大学競技スポーツにおける学生アスリートは、過酷な環境や期待によりメンタルヘルスへの負担が大きい。しかし、現状のスポーツ心理学者の支援体制は十分とは言えず、「メンタルタフネス」への偏見が支援へのアクセスを妨げている。大学では心理支援モデルが導入されつつあるが、質や対応は異なっている。今後は大学カウンセリングセンターとの連携を強化し、学生アスリートのメンタルヘルスと幸福の向上を図る必要がある。一般的な精神疾患についての理解も重要となる。<br>担当部分:翻訳<br>著者名:足立達也、金炫勇 |